

あびらの未来を、みんなで考える。

新しい総合計画づくりが始まっています

「総合計画」は、町の未来のかたちを決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第2次総合計画に基づき、令和8年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、安平町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれていきます。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和9年度からスタートする「第3次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

前回のおさらい

令和8年の広報あびら3月号から引き続き、令和7年7月から8月にかけて実施した「安平町まちづくり町民アンケート」の結果についてお伝えしました。

回答者の皆さんが望む「今後の安平町に求めるまちづくりの特色」についてお伺いし、「子どもの元気な声が響く、地域みんなではぐくむ子育て・教育のまち」が約40%、「自然と暮らしが調和する、ほどよい田舎で生活基盤が整った安心・安全のまち」が約50%という結果となっています。

今回のおはなし

引き続き「安平町まちづくり町民アンケート」の結果についてお知らせします。

今回はアンケート最後の項目「自由記載」です。率直で幅広いご意見を158件いただきました。皆さんからのお声をそのまま掲載するのではなく、内容の趣旨を踏まえながら共通する論点ごとに整理し、全体像として分かるよう再構成しています。なお、広く町民の皆さんへお知らせするため、配慮が必要な表現は調整を行っています。

結果の続き

【自由記載】

2035年頃の安平町の「望ましい姿」「目指すべき姿」「進むべき方向性」などについて、ご意見、ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

まちづくり全般

【政策的提案】

■全般的取り組みの方向性

- ・移住者や新規の事業に対してだけでなく、既存住民にも実感できる取組の充実と見える化
- ・移住PRよりも、まずは今住む町民の満足度を高めるという考え方
- ・人口減少を前提に、これまでと異なるやり方へ転換していく姿勢

■人口、産業、定住の方向性

- ・立地の強み（千歳、苫小牧、札幌への近さ）を活かした企業誘致、人口増、産業振興
- ・外部環境の変化（例：半導体関連の動きなど）を、地域の機会として活用
- ・移住PRの強化と移住→定住→永住につながる産業、交通、生活基盤の整備

■暮らしの安心基盤（医療、福祉、交通など）

- ・医療、福祉の方向性を分かりやすく示し、全世代が住み続けたいと思える体制へ
- ・健康で長生きするための介護予防を充実し、教育と併せて“まちの両輪”として位置づける
- ・若い世代が住みやすく、生活しやすい環境整備を進める

■住民参画、共創とつながり（コミュニティ）

- ・小さなイベントや交流の場を各地域で継続し、世代を超えて集まりやすい文化として育てる
- ・自治会などを核に、移住者も含めた交流、連携を深め、住み良い地域づくり
- ・コロナ禍以降のコミュニケーションの希薄化を踏まえ、つながりの回復を意識する
- ・住民同士の関係は“遠すぎず近すぎず”の程よい距離感を大切にする
- ・小さな町だからこそ、得意を持ち寄って助け合える関係性を保つ

■多様性、共生（世代、国籍など）

- ・高齢者への思いやりや配慮が行き届く環境づくり
- ・外国人住民の増加を見据えた生活支援と暮らしのルール、受入側の役割の整理
- ・若い世代への投資と年配世代の協力を得た世代間交流の拡大

■地域間バランスと機能配置

- ・地域間（早来、追分、遠浅、安平）のバランスを意識した町づくり
- ・施設の統廃合、再配置を将来負担も見据えて進める

■まちの将来像

- ・教育を軸にしつつも働く世代、中高年層にとっての魅力（暮らし、仕事、楽しみ）も広げる
- ・“明るい未来が見える”政策の打ち出しと、町民が前向きになれるストーリーづくり
- ・若者の出会いの機会をつくる
- ・新しいことを始める人への応援、支援を強める
- ・未来の子どもたちを念頭に「何をする／しない」を町民自身も議論しながら未来を描く町でありたい

【個別事業提案】

■町民サービス

- ・町民向けの割引、優待などの充実

■広報、シティプロモーション

- ・町のキャラクター（あびたまなっちー）の公式化やより定着するための取り組み
- ・若い世代の活動や取り組みの成果が、町民に届く形で伝わる工夫（発信、可視化）

■若者の居場所、楽しみ

- ・若者向けの娯楽や居場所となる施設や場の充実

■人材、担い手の確保

- ・地域おこし協力隊の雇用に関し、地元人材の雇用機会との関係を意識した運用

今後の予定

引き続き「自由記載」における「子育て・教育」「商工・観光」「移住・定住」「公共交通」「福祉・医療」などの分野についてご報告する予定です。

【総合計画に関するご意見】

随時、受け付けています。インターネットからも受け付けていますので、ぜひご活用ください。右記二次元コードからもアクセスできます。

インターネット受付先：<https://www.harp.lg.jp/kyFPjdtc>

郵送先：〒059-1595 安平町早来大町95番地 安平町役場政策推進課 宛

FAX送付先：FAX 22026



総合計画に関する問合せ 政策推進課政策推進グループ ☎ 22751